

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410025	X-13-B-3-410025	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
専門演習（経営）B	上西園 武良・小宮山 智志・白井 健二・近山 英輔・土屋 翔・藤瀬 武彦			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択必修	3年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択必修	3年

授業目的

この演習では、卒業研究の前段階として、テーマ（問題）を選定し、その問題についてどう解決すべきかを考え、それを実践し、報告するといった一連の研究形式を学ぶ。テーマは、B分野で取り上げられるべき「人間と社会」に関するものに限定する。各研究室単位でその研究室に必要な基本的研究方法、およびデータ解析方法を学び、最終的には、報告書を作成し発表を行う。

【対応するディプロマポリシー】

- 健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること。
- 自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表する力があること。

各回毎の授業内容

第1回

【授】ガイダンス

【前・後】事後：演習の進め方を復習しておく（2H）

第2回

【授】B分野における研究テーマおよび研究方法の概説(1)

【前・後】事後：第2回演習で習得したB分野における研究方法を復習しておく（2H）

第3回

【授】B分野における研究テーマおよび研究方法の概説(2)

【前・後】事後：第3回演習で習得したB分野における研究方法を復習しておく（2H）

第4回

【授】B分野における研究テーマおよび研究方法の概説(3)

【前・後】事後：第4回演習で習得したB分野における研究方法を復習しておく（2H）

第5回

【授】研究テーマ設定

【前・後】事前：候補テーマを事前検討しておく（2H）

第6回

【授】研究計画立案

【前・後】事前：各自で研究計画を立案しておく（2H）

第7回

【授】調査・実験(1)

【前・後】事後：調査・実験の反省事項を記録しておく（2H）

第8回

【授】調査・実験(2)

【前・後】事後：調査・実験の反省事項を記録しておく（2H）

第9回

【授】調査・実験(3)

【前・後】事後：調査・実験の反省事項を記録しておく（2H）

第10回

【授】調査・実験(4)

【前・後】事後：調査・実験の反省事項を記録しておく（2H）

第11回

【授】データ解析(1)

【前・後】事後：データ解析の反省事項を記録しておく（2H）

第12回

【授】データ解析(2)

【前・後】事後：データ解析の反省事項を記録しておく（2H）

第13回

【授】報告資料・発表資料作成(1)

【前・後】事前：報告概要をまとめておく（2H）

第14回

【授】報告資料・発表資料作成(2)

【前・後】事前：発表資料の改善点を列挙しておく（2H）

第15回

【授】研究発表会

【前・後】事前：発表練習をしておく（2H）

第16回

【授】(なし)

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

・毎回の実習課題レポート（50%）、最終レポート及び研究発表（50%）で評価する。

・フィードバック：レポート不備の場合は再提出

教科書参考書

特になし

受講に当たっての留意事項

演習に出席しなければ、その回のレポート点は成績評価の対象とならない。

学習到達目標

この演習を通して以下の4つの能力を身につけることを目標とする。

- 1) 問いを見つける構想力
- 2) 斬新な仮説を導き出す独創性
- 3) 検証方法に関する応用力
- 4) 結論を導き出す論理的思考力

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410025	X-13-B-3-410025	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
専門演習（経営）C	山下 功・内田 亨・岸野 清孝・小林 満男・佐々木 桐子・藤田 美幸			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択必修	3年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択必修	3年

授業目的

企業経営における情報システムの活用に関する基礎的な知識の習得を目指す。具体的には、経営組織、経営戦略、経営管理、会計情報システムなどを理論的に学習し、意思決定能力、データ分析能力を養う。また、企業経営における問題を発見し、解決策を立案し、問題解決に至るプロセスを学ぶ。

【関連する学位授与方針：情報技術の利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること。】

各回毎の授業内容

第1回

【授】世界経済と日本(1)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第2回

【授】世界経済と日本(2)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第3回

【授】日本経済の動向(1)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第4回

【授】日本経済の動向(2)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第5回

【授】新潟県の位置づけ(1)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第6回

【授】新潟県の位置づけ(2)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第7回

【授】人的資源管理(HRM)(1)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第8回

【授】人的資源管理(HRM)(2)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第9回

【授】需要予測(1)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第10回

【授】需要予測(2)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第11回

【授】在庫管理(1)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第12回

【授】在庫管理(2)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第13回

【授】会計情報システム(AIS)(1)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第14回

【授】会計情報システム(AIS)(2)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第15回

【授】企業経営と情報システム(IS)
【前・後】【予習復習に45分】テキストを事前に読む。事後に演習課題に取り組む。

第16回

【授】なし
【前・後】なし

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							50
宿題・授業外レポート							50
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

以下のいずれかの方法でフィードバックをする。方法は各担当教員で異なる。

- (1) ポータルまたは掲示にてレポートの最優秀答案を公表し、全体の評価について講評する。
- (2) レポートを採点して返却。ポータルまたは掲示にて講評を行う。
- (3) 点数分布や平均点などをポータルまたは掲示にて公表し、講評を加える。

教科書参考書

第1回演習時にテキスト「専門演習(経営)C分野」を配付します。

受講に当たっての留意事項

演習に出席しなければ、その回のレポート点は成績評価の対象となりません。

学習到達目標

- ・理論を通じて、企業経営に関わる基礎的な知識を習得することができる。
- ・企業経営における意思決定能力、データ分析能力を養うことができる。
- ・企業経営における問題を発見し、解決策を立案し、問題解決に至るプロセスを理解することができる。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習